

時代と共に名称変更

横浜緑リトルシニアリーグの歴史



《 歴史 》

昭和45年 9月	リトルリーグ誕生	緑リトルリーグ	初代 会長 長崎昭二 様
昭和53年 8月	名称変更	緑西リトルリーグ	(選手増加の為 チーム分割) 球団名 キングタイガース(KT)
昭和56年 1月	シニアリーグ誕生	緑西リトルシニアリーグ	
昭和61年 9月	会長 就任	馬場 勉 (現会長)	
昭和62年 2月	シニアグラウンド完成	長津田シニア専用球場設立	(後のリトルグラウンド)
平成元年	シニアグラウンド完成	鴨居シニア専用球場設立	(現横浜緑シニアグラウンド)
平成 7年1月1日	名称変更	緑リトルシニア」リーグ	(分区に成った為)
平成18年9月1日	名称変更	横浜緑リトルシニア野球協会	
平成22年9月30日	NPO法人承認	特定非営利活動法人	
	名称変更	横浜緑リトルシニアリーグ野球協会	
平成23年1月22日	記念式典	リトル40年 シニア30周年 記念式典	(新横浜プリンスホテル)

★ 戦績の詳細は『優勝の歴史』を参照ください

《 設立の目的 》

硬式野球を愛好する小中学生の少年少女達に対し、硬式野球を正しく指導し、個人の体位の向上とチームワークを通じて、団体生活の一員として、共同生活の精神を養成し、判断力表現力、根性、忍耐、協調心、礼儀心、感謝心、責任感を高め、立派な社会人になる為に勉強と共に少年少女同志の交歓の場を与え、友情感覚を指導育成し健全な発展を図る事を目的にしております。

横浜緑キングタイガースは、野球だけが上手になればいいというチームではありません。『野球道』を通じて体力の向上と心の健康作りを第一としています。

『人』という字は、お互いに支えになりあってできています。

それは人間は一人で生きる事も出来ないし、一人では仕事も出来ないという事です。

選手の皆さん達が大人になって、社会に役立つ立派な人間になるには周囲の人達から支えてもらえる人間になって行くことが大切です。

どんなに優秀な頭脳をもっている、人間としての温かい心、思いやりのある心と健康な身体を持っていなければ、調和のとれない人間になってしまいます。

調和のとれた人間作りの基礎は少年の頃から『心と技と体』を磨いておかないと大人になってからでは遅すぎます。

将来、立派な人間に成る為の基礎づくりと、子供たちの野球に対する『夢』をかなえて上げたい祈りで、それを願い、昭和45年9月に緑キングタイガースは誕生いたしました。